

千葉大学創立60周年記念公開市民講座

千葉学のいま

—海と里山の歴史、これからのまち—

みなさんは「千葉」というと何を連想されるでしょうか？
房総半島は周囲に海が広がり、緩やかな丘陵地帯と里山が連なる豊かな自然に恵まれています。
今回の「千葉学」講座では、房総半島の成り立ちと自然、そこで展開されてきた人々のくらしと歴史、そしてこれからの地域づくりを考えます。

<日時>

平成21年11月14日(土)

13時10分～15時30分

<場所>

千葉大学けやき会館 大ホール

千葉市稲毛区弥生町1番33号

第1部 千葉大学の房総研究

13:10～14:30

房総半島の成り立ちと将来

:地球科学の視点から

宮内 崇裕 (千葉大学大学院理学研究科教授)

ミツバツツジが語る房総・里山の社会生態学

:緑地・環境科学の視点から

小林 達明 (千葉大学大学院園芸学研究科教授)

房総の海のくらしと民俗

:民俗学の視点から

和田 健 (千葉大学国際教育センター准教授)

古代房総の海と人々のくらし

:考古学の視点から

岡本 東三 (千葉大学文学部教授)

第2部 千葉大学の地域連携実践

14:40～15:30

山武市との連携と地域づくり

千葉大学 大学院 工学研究科 北原理雄研究室

千葉大学工学部・園芸学部の教員が中心になって立ち上げた「共生環境デザインによる房総半島活性化支援」プロジェクトが、平成19年度の文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に採択され、現在3年目の取り組みが進められています。ここでは、その一環として山武市と連携して行われた工学部都市環境システム学科の演習「まちの宝をつなぐ～山武まちづくり提案2009～」の成果を、学生自身の発表によって紹介します。

- 主催/千葉大学生涯教育企画室
- 共催/千葉大学地域観光創造センター
- 後援/千葉県、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、千葉日报社



<お申込み方法>

- ★ハガキ(封書)・FAX・Eメールで受け付けます。
- ★FAXによるお申込みは、裏面の申込書をご利用ください。
- ★ハガキ(封書)、Eメールによるお申込みは、お名前(ふりがな)・住所・電話番号・メールアドレスをご記入の上、下記担当宛にお送りください。
- ★当日会場での受付も可能です。

<お申込み、お問い合わせ>

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号
千葉大学 学生部 教務課 総務担当グループ(生涯教育)
TEL.043-290-3618 FAX.043-290-3606
E-mail:dak3618@office.chiba-u.jp